

令和6年2月度栗東市教育委員会定例会会議録

開催日時 令和6年2月19日(月) 13:30～15:10
開催場所 庁舎 4階 第1委員会室
出席委員 教 育 長 安土 憲彦
教育長職務代理者 朽木 徳壽
委 員 内記 一彦
委 員 田中 和子
委 員 多田 玲子
事務局出席者 教育部長(小林)、こども家庭局長(村瀬)、教育総務課長(大角)、学校教育課長(高野)、学校教育課参事(安岡)、人権教育課長(松浦)、生涯学習課長(赤井)、スポーツ・文化振興課長(福田)、国スポ・障スポ推進課長(秋田)、幼児課長(西江)、幼児課参事(内田)、図書館長(西村)、書記(小林)

会議を傍聴した者 一般傍聴者 0人 市政記者等の傍聴者 0人

開会宣言 13:30

教育長

ただいまから令和6年2月度教育委員会定例会を開会いたします。
日程に従い、進めさせていただきます。「日程2 市民憲章唱和」をお願いします。

市民憲章唱和(幼児課参事)

教育長

それでは次第にしたがいまして会議を進めさせていただきます。
日程3 議案第22号「栗東市立教育施設における防犯カメラの設置及び運用に関する要綱の制定について」説明をお願いします。

教育総務課長より説明

教育長

ただいまの議案につきまして、ご質問等ございましたら、お願いします。

田中委員

第5条第2項にあります画像保存期間14日に対して、第6条第4項では記録簿の保管を1年間とありますが、この違いは何ですか。

教育総務課長

画像保存期間 14 日ですが、期間を延ばすことはできますが、延ばすと記録した画素数が悪くなるということがございますが、14 日ですと画像が鮮明に映っているということです。また 1 年間といたしますのは、こちらはちょっと具体的な根拠はないですが、一巡するような形で 1 年間としております。

教育長

ほかにございませんか。これより議案第 2 2 号「栗東市立教育施設における防犯カメラの設置及び運用に関する要綱について」採決をさせていただきます。

本件について、ご異議ございませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは異議なしにより、議案第 2 2 号は原案通り、可決といたします。

教育長

続きまして、議案第 2 3 号「栗東市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定に係る意見の申出について」を栗東市教育委員会会議規則第 3 条第 3 項の規定により追加議案として提出いたします。事務局説明をお願いします。

幼児課長より説明

教育長

ただいまの議案につきまして、ご意見等ございましたら、お願いします。それでは、意見もないようですので、議案第 2 3 号は原案通り、市長に回答することといたします。

教育長報告

続きまして「日程 4 教育長公務状況報告」について、私から報告させていただきます。2 月 2 日（金）第 2 回栗東市社会教育委員会議、6 日（火）令和 6 年度新政会政策要望にかかる懇談会、栗東市青少年問題協議会兼少年センター運営会議、7 日（水）教職員人事にかかる地教委訪問（第 2 次ヒアリング）、1 0 日（土）第 8 回「家族のきずな」優秀作文表彰式、1 1 日（日）第 5 0 回びわこ栗東駅伝～クロカン in 野洲川～、1 4 日（水）議会説明

会、教職員人事にかかる地教委訪問（第2次ヒアリング）、15日（木）第21回栗東市教育研究発表大会、19日（月）教育委員会定例会です。予定として、20日（火）議会運営委員会、21日（水）定例校長会、22日（木）定例記者会見、27日（火）3月議会本会議開会 議案上程です。

以上でございますが、何かご質問ございましたら、お願いします。

教育長

ないようですので、次に進めさせていただきます。

続きまして、日程5 その他報告事項①各課（館・所）の「2月度事業進捗状況について」報告をお願いします。

教育総務課長から順次報告

教育長

報告事項①について、質問等はございませんか。

田中委員

非認知能力のチラシの内容について、よく理解させてもらうことが出来ました。このチラシは何部作製されて、一般市民対象で、皆で取り組まれることになると思うのですが、どのように用途を考えておられますか。

学校教育課参事

チラシは1万部作成いたしました。少しずつ配付をしているところで、例えばコミセンであったり、図書館に置かせていただいたり、小学校・中学校・保育園・幼稚園や連携ということで就学時健診の時にちょっと一声かけながらですとか、児童館などに置くだけではなく、声かけをしながら配付をしていきたいと考えております。

田中委員

他の課とも一緒に進めていき取り組みが進んでいくことを望んでいます。よろしく願います。

教育長

他にございませんか。

内記委員

生涯学習課の進捗状況の中で、非行防止教室で5歳児対象とあるが、こういった内容でされているのか教えていただきたい。

生涯学習課長

子どもさんが小さいので、警察からは不審者の対応ということをお話していただいております。薬物の危険性については小学校6年生を対象にしております。コロナ禍ではやっていなかったのですが、今年度復活しました。希望園について、実施させていただいております。

内記委員

効果はどうか。

生涯学習課長

小さい子どもさんですので、どこまで理解していただいているかテストをしているわけではないので分かりませんが、記憶に残るような形で着ぐるみを使って、少年補導委員さんが寸劇みたいな形でやっていただいていますし、視覚にうったえて啓発を行っております。

教育長

私の方からですね、人権教育課の進捗状況で、びわこ南部地域部落解放高校生等交流集会に地域の子以外、栗東中学校から3名参加していると報告がありました。背景等分かる範囲で教えていただきたい。

人権教育課長

学校での人権学習も、もちろんそうなのですが、日ごろの関わりの中で、栗東中学校の先生の関わりの中で、しんどい背景を持った子どもたちと人権的な話をする中で、こんなんがあるけどちょっと行ってみないか、部落差別をなくすこともそうなんですけど、いろんなしんどい状況を変えていくために高校生が集まって、いろんなディスカッションする場のただの、興味あるかっていう、そういう感じの声かけから3名の子が、実行委員会の段階から参加をしてくれています。ちなみに今度、さきらで中学生の人権学習の学びを発表していただくのですが、そこに来るともその子たちです。栗東中学校から来てくれる2名の子はその子達です。

教育長

他人事ではなく主体的に活動していくって子ども達の姿って本当に有難いなと思います。またそういったところ、他の学校とも連携しながらやっていただけると有難いなと思います。

あと国スポ障スポ推進課の方で来年度になるわけですけど、リハーサル大会も含めて、色々秒読みの感じですが、市民への啓発とか、機運を醸成するような取り組みとして、クリ

アファイルを作成したり、市民への啓発、盛り上げなど計画がありましたら教えていただきたい。

国スポ・障スポ推進課長

市民への周知、啓発をしていくのにソフト面も色々としていく必要があるのですが、リハーサル大会が6月と来年2月に開催させていただく予定で、周知作業をさらにやっていきたいと考えております。広報の掲載はもちろんですが、ホームページやSNSでの発信、視覚的なものでいきますと、看板とか駅の階段とか市役所のエレベーターの扉とか計画しております。今、学校の方に協力いただいて、小中学校にのぼり旗の制作を学校連携ということでさせていただいたりとか、幼保については、会場装飾用の花を育てていただくような事業をしています。できるだけ多くのところで、そういった事業をしていきたいと思っております。

教育長

他に何かご意見等ございませんか。

内記委員

今も関連で国スポの関係で、体育館の整備してもらって、空調をという話が、それはもう、予算化できたのですか。

国スポ・障スポ推進課長

予算としては社会体育施設整備の方でしていただいて、昨年9月議会の補正予算で整備予算をつけていただき、その後、公開プロポーザルを実施して、設計施工をして6月のリハーサル大会に間に合うような形で提案いただき業者は決定しております。体育館の方は第1アリーナ、第2アリーナ空調を整えるような形で、12月に契約をしております。

内記委員

6月までには完成するということですね。

国スポ・障スポ推進課長

はい、ただ今回、年度繰越を3月に議会に提案させていただくのですが、昨今の情勢の関係で銅線の仕入れがすごく大変なようで、そこでちょっと2か月くらい工程が、その取り寄せに時間がかかっているようですが、なんとか6月の中旬には間に合うかなと業者にも聞いておりますので、リハーサル大会には使えるようにしたいなと思っております。引き続き使いますので市民さんにも使っていただける環境を整えていきたいと思っております。

教育長

他にはありませんか。それではないようですので、以上で各課の2月度事業進捗状況に

ついて終了させていただきます。

次に報告事項②「児童生徒数出席状況について」報告をお願いします。

学校教育課長、幼児課参事から順次報告

教育長

ただいまの報告につきまして、ご質問、ご意見はありませんか。

教育長

ないようですので、報告事項②「児童生徒数出席状況について」を終了します。

続きまして、報告事項③「令和6年度栗東市教育委員会関係予算について」をお願いします。

教育部長から報告

教育長

ただいまの説明につきまして、ご質問等ございましたら、お願いします。

朽木教育長職務代理者

15ページの小中学校、業務補助事業そこに最後にできますスクールロイヤーというのは。

学校教育課長

学校でいろんな事案を相談するときは、市の顧問弁護士をお願いしていますが時間がかかるということで、学校教育課の方で、弁護士を委託しまして、直接、学校の方に弁護士に行ってもらってケース会議を行ってもらえるような形で考えております。

田中委員。

この資料を事前にはいただいているのですが、専門外なので教えていただきたい。教育の占める割合が昨年度と比べて若干低くなっていますが、予算については事業を実施していく上で十分というのはなかなか栗東の財政状況を思いますと難しいと思いますが、概ねであるのかどうか、差し障りのない中で教えていただけますか。

教育部長

構成比は確かに昨年度と比べて減ってはおります。各課それぞれ必要な経費を予算要求しているところですが、市の財政状況の中で、なかなか100%のような予算というのは難しいところですが、限られた予算の中で最大限いかせるように、子ども達の教育のために頑張っていきたいと思っております。

田中委員

皆さん大変だろうと思いますが、よろしく申し上げます。

教育長

予算の規模をみていただいたら分かりますように、過去にないくらい大きな予算になっています。教育費にかかる構成比については、近隣市の状況も調べてみましたが、その中では栗東市が一番多いです。割合が多いにこしたことはないのですが、どれだけのお金を使えるかということなので、予算規模が大きくなると、同じように構成比を維持するのはやっぱり厳しい。だからと言って教育予算が昨年度と比べて減っているわけではないので、構成比は若干、下がっていますけれど予算規模としては教育費もそれなりの厚さで、増やしていただけるのかなと思っています。

教育長

他に何かご質問等ございませんでしょうか。ないようですので、報告事項③「令和6年度栗東市教育委員会関係予算について」を終了します。

教育長

それでは、以上で各課の2月度事業進捗状況について終了させていただきます。

続きまして、報告事項④「くりちゃんチャレンジならびに栗東市総合学力調査の終了について」説明をお願いします。

学校教育課参事から説明

教育長

ただいまの説明につきまして、ご質問やご意見等ございましたら、お願いします。

田中委員

今の説明の中で発展していくという言葉いただきました。終了という言葉もありましたけれども、私個人的には継続していくのだなという風に受け止めています。基礎基本、学習習慣の定着、授業改善につながっていく。方法は、時代の流れとともにもちろん変わっていきますし、子どもの興味関心も変わります。それは当然だと思います。継続は力なり。栗東市の一つの脈々と受け継がれていく、手法は変わっても根底は変わらないと思います。成果として意識化出来たということを書いていただいています。もちろん意識化で子どもも教師も今まで一生懸命取り組んできました。成果として例えば学力調査のAの質問（基礎的な問題）は数字的にはプラスに上がったと思っています。中学校2年生の方は授業改善をしていく、教師の指導力をあげていくということで、形を変えてなさいました。そういったことも

どういった成果があったのかということも、もっと PR なさったらどうかなと思います。川島隆太先生に来ていただいて一人ひとり計算と漢字のドリルを年度が変わるごとに一人一冊栗東市の予算で配付して子どもに力をつけてきたという経緯がありますので、成果の方も意識付けに終わらず、アピールされたらどうかなと思いました。もう一つ、新しい発展した、中山先生に来ていただいて、非認知能力を進めています、それはこの図のどこにリンクしていくのか、とらまえかたとして。見落としているのかもしれませんが、ここに表示していただけたらと思います。

学校教育課参事

A 問題については、お話いただき有難いなと思います。このくりちゃん検定、くりちゃんチャレンジのスタート当初は、まずは学習習慣の定着からということで、今回そこを中心にお話させていただいた次第です。学力調査につきましても、少しずつですが効果は出てきていると感じているところです。成果の方も出していてもいいのかなと思いました。また教師の指導力、授業改善ということにつきましては、学ぶ力向上策というのが滋賀県から出てきていますので、それを受けて栗東市の学ぶ力向上策とリンクさせてから取り組みを進めていくと考えております。それから非認知能力との関連性ということですが、資料でいくならば、一番下の方です。済みって書いてある個別最適な学びについては自分を高める力になっていると思いますし、協働的な学びについては、他者と繋がる力と繋がっていると思います。もちろん、色んな所でリンクしていますので、すべて網羅できているわけではありませんが、今一番大きく伝えられることが出来たらその二つです。

田中委員

関連して関連して関連して一つに繋がっていくので、視点を当てるときにはここということなんですけど、全部関連しないと深まっていけないと思いましたので、そういったことを考えているということも少しも感じられるものを期待しているところです。

教育長

くりちゃん検定については、前回の議会でも話題にもなっていました。成果がなくなったから終わるのではなく、やはり田中委員がおっしゃったように、やっぱり私自身の子どもをみても2つ検定があるので、一生懸命頑張って復習予習をしていましたし、何級とるっていう目標にもなった、それがモチベーションになっていたことも事実だと思います。そういったやはり成果をしっかりと市民にアピールしていきながら、次のステップで次やっていくんだというのはやはり明確にしていけないと、何か効果がなくなったから、或いはそこに使う予算はもったいないなっていう形で取られるも残念だなと思いますので、そういうところをしっかりとやっていくということと、今後目指すこの非認知能力に関わってやはり、もちろん向上的な学びというものもありますけど、一番はやはり、自分を高める力の向上にも関わってきますし、この非認知能力の中でも、継続する力であったり、忍耐力というものも肝。

そういった部分で、やはり学力と基礎学力というのは細かいところを積み重ね継続する力というのが非常に大事になってくると思いますので、そういったところをつけていくことによって、頑張っってやっっていこうというところに繋げていきますという形でいく方がいいのかなと思います。そういった部分で今回先ほど田中委員さん言われたようにこれでおしまいではなく、これをどう、次の栗東の目玉でしていくか。大きな柱にしていくかっていうのがポイントになってくると思います。特にタブレットを使いながら自分のペースに合わせてやっっていくというのは、今までのくりちゃんチャレンジにはなかった 1 つの方法だと思いますし、実際にタブレットがあるので、今までのテキスト以上のことが当然タブレットが可能だということで、そういった選択をしていくわけなんで、実際そやからいうてタブレットを毎日持って帰っていないのでは、できるわけない、またその辺は、小学校中学校と連携しながら、していきたいなというふうに考えております。

教育長

他にいかがですか。

内記委員

今の内容でちょっと教えて欲しい。くりちゃんチャレンジを止めて、タブレットを使ったドリルパークで実施をしていくと。ここに書いてあるように自分のペースで、学習をやっっていくということですので、進度が個々によって違うかもしれない。そのチェックとか、成果の確認は誰が評価していくのですか。

学校教育課参事

まずは子ども達の学習習慣の観点でいうならば、子どもたちがどんどん問題を解いていくことで、おまけじゃないですが、メダルがもらえます。メダルをためるということが子どもたちの励みになります。また、どれだけそのタブレットを使っているか、ドリルパークの使用状況については、学校の方でこの子はここまで進んでいるという状況の把握はできます。その様子をみながら、子ども達の状況に応じて声掛けをしていくという活用ができます。

内記委員

メダルの多い子や少ない子が出てくるということですね。それが少ない子については、その辺りの指導は担任の先生がしていかないといけないのでは。

学校教育課長

学習支援員がおりますので、なかなか進んでいない子については、学校教育課の学習支援員が現場に行っって、直接教えるというようなことも来年度については想定しております。

内記委員

その辺りのフォローをしてあげないといけない。しない子はしないし、どんどん差が出てくる。

教育長

前のくりちゃんチャレンジ、くりちゃん検定の時も家庭の協力というのがなかったら出来ないと思いますので、あのときはお家の方も協力されていたところもありますので、そういったところも家庭の連携という部分もどういった形で連携してもらえるのか検討していたらと有難いなと思います。他に何かご質問はありませんか。

多田委員

一番最初うちの子もきりりんフルから入って、書いて、試験があつて、80点以上合格という、合格点数に満たなかったら再テストがあつてという形をとられていたのが、それがだんだんタブレットで選択型になって、それが今度は、自分で自主学習でという形になった。そのの方が、学力として上がっていくのでしょうか。なんとなく、私がここだけを見てですけど、やっぱり追試になりたくないとか、絶対100点満点取りたいというのがあつたので、結構、必死になって書いて書いて書いてとやってたんですけど、選択型になったら何となく、ふわっと覚えた形で、いけるようになってしまって何となく今もう、漢字なんかもうふわっと覚えているような感じがちょっとしていて、ちょっと何か前半のきちんと書いて書いて書いての方が、確かに子どもたちは大変なんですけど、そっちの方がよかったんじゃないかなあとずっと思いながら、見守っていて、今度、タブレットで自主学習でというふうになっても、ほとんどタブレットを持って帰ってこないんですね。学校でも持って帰らないっていうに決まってると言っていて。先生たちはたくさん良いワークがあつて、いろんなことができるんだよっていうふうに教えてはくれるけど、持って帰れないというふうに、子どもも言うので、この間も学校訪問に行かせてもらったときも、全家庭にWi-Fiがあるわけじゃないから、それができないというふうにもお聞きしたので、ちょっと気になってはいるんですが、どういう感じでしょうか。

学校教育課長

くりちゃん検定の再チャレンジにおける問題点は、答えしか覚えられない。知識として身につけていけない、というふうなことがあります。で、それをクリアできるかなということで、ドリルパークが入ったときに、くりちゃんチャレンジというふうな形で、形を変えました。そこで書き取りも、本来は、する予定やったんですけども、独自の問題を書き取り問題にするには、システムの変更が必要となり、予算上無理でして、やむを得ず、選択式。確かに選択式にすると、ふわっとしか覚えられない。いうふうなことがあります。なので、もうここは元に戻すというよりも、ドリルパークの本来の機能であるAI機能とAI機能とか使うとすべて書き順とかも判定しますので、その機能をフルで使って、進める方が学力向上に繋

がるのではないかというふうな判断です。あと、タブレットの持ち帰りについては来年度、指導します。

教育長

他に何かご質問等ございませんでしょうか。それでは、以上で報告事項④「くりちゃんチャレンジならびに栗東市総合学力調査の終了について」終了させていただきます。

続きまして、報告事項⑤「令和6年度栗東市教育方針の修正について」説明をお願いします。

教育総務課長から説明

教育長

ただいまの説明につきまして、ご質問やご意見等ございましたら、お願いします。

多田委員

7番の文化における中学校の部活動の地域移行のところは、なぜ削除になっているのでしょうか。

スポーツ・文化振興課長

こちら、削除しておりますのは、6番のところには中学校の部活動の地域移行のところを記載しております。当初はスポーツと文化と別々に考えていましたが、6番のところを全てを兼ねるということで7番のところは削除させていただきました。

教育長

それでは、以上で報告事項⑤「令和6年度栗東市教育方針の修正について」終了させていただきます。

続きまして、報告事項⑥「栗東市教育委員会学校園訪問の結果について」を議題といたします。去る1月29日（月）に葉山幼稚園、葉山小学校、葉山中学校を訪問させていただきました。委員の皆様から感想などをお願いします。

朽木教育長職務代理者

私は中学校のことについて少し話をさせていただきたいと思います。中学校の訪問につきましては以前から私保護司をしておりまして、もう10数年、7月の社会を明るくする運動の期間中に、中学校ならびに小学校に訪問させていただいております。今も続けております。そんな中で、ここ数年、中学校を訪問させていただくと、10年ぐらい前と比べると、ものすごい落ち着いたなというふうに思います。例えば、葉山小学校なんか以前訪問させていただいたら、授業中にも関わらず校門の柱の上に、何人か座っとならば、校内をウロウロしとるとか、それから校内が汚いとか色々ありましたが、今は、すべて、みんな教室に入っており

ますし、校内は綺麗ですし、それから一番思うのは、下駄箱が綺麗です。きちっと靴が入っています。その辺りが数年前とは違うなというふうに感じました。ああいう状態で、生徒さんが、授業に集中していただけるのであれば、これからも、ああいう中学校であって欲しいなというような感想を受けました。以上です。

田中委員。

今回の訪問のテーマとして三つ掲げられておりましたので、その三つのポイントについて懇談等授業の視察をさせていただきました。一つ目は、各校園の5年度の重点の取り組みと課題でした。これにつきましては、幼稚園、小学校、中学校とも非常に子どもの実態、地域の特性を考えられて、工夫して子ども達にその手立てをされたものでしたし、成果が見られましたので、授業も見せていただいて、施設も見せていただきましたので、この訪問は意義があったなという風に感じた次第です。管理職の先生も教諭の先生、保育士の先生、幼稚園の先生も皆さん頑張っておられましたので敬意を表したいと思っています。二つ目のテーマとしては、葉山中学校区の縦の連携の取り組みということでした。特に、葉山中校区は、以前から、葉山家学ウィークということで、家庭学習の連携と脈々と受け継いで今もしておられます。学校の生活の中では、学習習慣の定着ということで、例えば時間をきちんと守ろうということ、校区あげてやっていただいていた。これも何年も継続していただいているところでありまして、成果を出していただいております。三点目は、小中校はGIGAスクールの現状と課題というテーマです。これにつきましては、先程からまだまだ課題がみえてきました。学校差、中学校区差、これについては、学校教育課の先生も同席していただいていたので十分承知していただいているかとは思いますが、現場とのギャップ、それと学校間とのギャップ、せつかく1人1台のタブレットがありますので有効活用ということで、教育委員会の強いリーダーシップを期待したいと思っている次第です。一つ付け加えて、2つ目の中学校区の交流におきまして、特に幼稚園と小学校におかれましては、読書教育の推進について、非常に力を入れておられまして成果を出しておられました。幼稚園では1日1話。それから図書館の方から移動図書館が来ていただいて、絵本の貸し出しをしていただいています。幼児たちが喜んでその絵本を貸出して、喜んで読んでいますということでした。小学校へ行きますと、ちょうど令和5年度に子ども読書活動優秀実践校ということで、文部科学大臣賞を受けておられましたので、その辺、幼稚園小学校で推進されている手応えを感じました。それを中学校に波及すればいいのになと思った次第です。もう一点この園長先生の話の中で出てきたことですが、国あげて不登校児童生徒の課題について、県も市もやっているところですが、園へ行かない、不登園という言葉は園長先生からお聞きしまして、不登校、不登園の二世といますか、親がそれで育ってきたから、何とかありますというような一部のお子さんがあるという現状も勉強させていただいて、今後、そのことも含めて栗東市として考えていけたらいいなと思った次第です。

内記委員

葉山中学校区の園、小、中学校訪問させていただきました。懇談を各先生方とさせていただきました。それぞれ目標なり計画なり立てていただいて、頑張っているということで、細かいことは田中委員がおっしゃった通りです。一点、気づいたことは昼に給食センターで給食をいただきました。今年度から委託先が変わったということで、どうかなと思っていたのですが、そんなに問題なく実施されていると、外からでしたが見させていただきました。味もそんなに落ちていないかなと思いました。有意義な勉強をさせていただきました。

多田委員

訪問させていただき、ありがとうございました。まず園に行かせていただいて、外遊びとか朝のひと時とかお歌の練習なんかも観させていただいて、その後に書類関係とかどうされているのですか、と質問させていただいたら、タブレットを使って最新の書類になっていて、びっくりしました。そういったものを観させていただいて勉強になりました。小学校ではちょっと入りにくい子たちのお部屋も観させていただいて、工夫された授業を観させていただくことが出来ました。中学校でも着くなり子ども達が挨拶してくれたりとか、それこそ昔とは全然違う中学校の様子を観させていただきました。私も子どもの参観で中学校に行きますけど、子ども達が本当にフレンドリーで声をかけてきてくれたり、学校で迷ったら、案内してくれたりとか、今の子は素直で優しいなと思いました。Wi-Fiがなくてと話を聞いてたので、そういった問題もまだ少しあるのだなと思っていたんですが、今回、幼稚園、小学校、中学校の順番で行かせていただいたのですが、これって同じ順番ですか。

内記委員

学校が変わっていく。

多田委員

学校が変わるだけで、幼小中の順番は変わらないのですか。

内記委員

年によって違う。

多田委員

学校さんとかの手順があるのだったらそれを狂わせたくはないんですけども、園の朝の時間に行かせてもらってるので、設定の保育時間っていうのを、また見せてもらいたいとか、学校の授業の時間だったので、朝の学活というか、そういう担任の先生がされてる学活の時間とか、そういったのも見せてもらえたら嬉しいなと思います。順番を変えてもらえたら、それがちょっと見せてもらえるのかなって思いました。幼稚園の就学前教育というのも、幼

稚園でも例えば学校に入る前にワークだとかそういったことってされているのですか。学校に入るにあたって教育的な事をされているのですか。

幼児課参事

就学前教育におきましては、公立園につきましては特にワークとかしておりません。子ども達が遊びの中で興味を持った段階で文字に興味を持つ時期がありますので、そういった時期に遊びの中でしております。法人立園につきましては、それぞれ園の方針によってそういったことをしている園があるようですが、全ての園がしているものではありません。

教育長

それぞれ委員の皆様方からご意見並びに感想等をいただきましてありがとうございます。私自身もちょっともう現場を離れて2年が経ちました。本来ならもっと園とか現場の方に行かせていただいて、現状を把握しながら教育行政を進めていかなければならない立場ですが、なかなかそういった機会もなく、よい機会だったなと思います。現職のときは教育委員さんをお迎えするという事は、それぞれの園も学校も緊張感をもって受け入れをさせていただきました。どこか校内で汚いところがないだろうかとか、いいところ見てもらうんじゃないかなと思います。今回葉山中学校区でしたけれど、また、次年度、違うところを回って違う園や、小中学校も行くこともありますし、先ほど多田委員からも提案がありましたけれど、また時間の方は、もちろん受け入れ側の都合もありますので、その辺は検討さしてもらいたいと考えております。実際教育委員さん、月に一度こうして集まって、お話させてもらってますけれどあくまでも書面での中での審議ですので、実際現場に見ていただいて、そこに実際子どもがいて、先生がいて、学校という入れ物の中でどういう動きをしてるのかとか、そういった部分をまた現場にいてるとわからない部分をこうして、指摘していただけると我々も非常に参考になると思いますし、また今日出てきたご意見等は、それぞれの園、あるいは小学校中学校の方にまた返していきたいなというふうに考えております。

それぞれの園・学校については、日程調整等準備等をしていただき本当にありがとうございました。また皆様のご意見も参考にさせていただきながら、次年度訪問を考えていきたいと思っております。それでは以上で日程5報告事項を終了いたしたいと思っております。

教育長

次に、日程6 その他①「各課からの報告事項について」ございましたら挙手にてお願いします。

- ・人権教育課長より「人権尊重と部落解放をめざす市民のつどい」について案内

教育長

その他、ございますか。他にないようですので、各課からの報告事項を終了させていただきます。次に、その他②次回3月度教育委員会定例会日程についてお願いします。

教育総務課課長補佐

3月の定例会の日程については、3月25日（月）13時30分からでお願いしたいと思っております。

教育長

ただいまの定例会日程について、皆様ご都合はいかがでしょう。

全委員

25日（月）でよい。

教育長

次回定例会は3月25日（月）13時30分からでお願いします。

教育長

本日予定しておりました日程はすべて終了しました。これをもちまして、2月度教育委員会定例会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

閉会宣言 15：10